

米国国立科学財団 (NSF)、大学支出に関する報告書を公表 (11月)

米国国立科学財団 (National Science Foundation: NSF) は、11月、大学の研究開発への支出に関する報告 (Universities Report Highest-Ever R&D Spending \$ 65 Billion in FY 2011) を発表した。概要は以下の通り。

NSF 高等教育研究開発調査 (the National Science Foundation's Higher Education Research and Development Survey) によれば、2010～2011 会計年度 (注1) における米国大学の研究開発に関する支出は、前年度比 6.3%増加し、5.3 兆円 (\$ 65.1 billion) (注2) となっている。

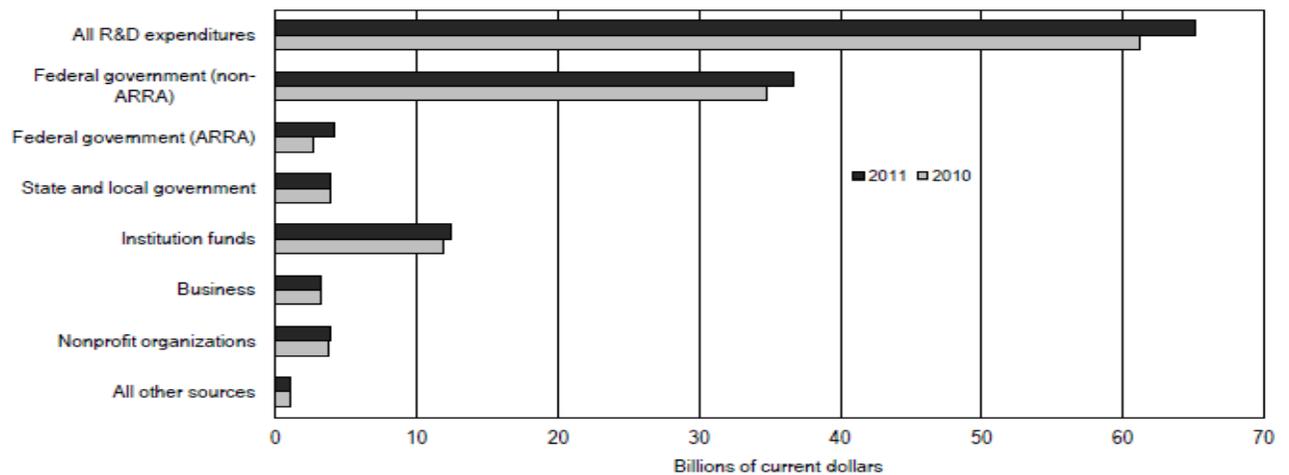
注1：大学における会計年度 (2010年7月～2011年6月) に依拠。

注2：インフレ率を考慮すると 4.3%の上昇。

この増加は、対象大学増加 (742 大学から 912 大学に増加) 分の 426 億円 (\$ 533 million) が加算されたこと、及び 2009 年米国再生再投資法 (American Recovery and Reinvestment Act 2009: ARRA) による政府予算増が寄与している。全支出のうち政府による支援は 62.6%を占め 3.3 兆円 (\$ 40.8 billion) に上り、その他、非政府組織、学術関係団体による支援も増加している。(参照: Figure 1)

【参考】 高等教育研究機関の支出財源内訳 (出典: 標記 NSF 報告)

FIGURE 1. Higher education R&D expenditures, by source of funds: FY 2010–11



ARRA = American Recovery and Reinvestment Act of 2009.

SOURCE: National Science Foundation/National Center for Science and Engineering Statistics, Higher Education Research and Development Survey.

分野別にみると、最も支出規模の大きいライフサイエンス分野は6.6%の増加、2.98兆円（\$37.2 billion）、大部分はメディカルサイエンス1.6兆円（\$20.4billion）、工学分野は7.7%の増加、0.8兆円（\$10.0 billion）、社会科学分野は2.7%の増加、1600億円（\$2.0 billion）、非科学、非工学分野は10.5%の急激な増加、2600億円（\$3.2 billion）となっている。財源については、各分野とも政府、関係団体、産業界、非政府機関など様々な方面から調達しているが、非科学、非工学分野は特に関係団体からの支出割合が大きい。

また、大学別にみると、上位30大学で全体支出の40%を占め、上位6大学(注1)は800億円（\$1 billion）を超える。前年度と比較して、大学内訳は南カルフォルニア大学とハーバード大学の順位の変更があったほか変動はない。

注：上位6大学 ジョンホプキンス大学、ミシガン大学アンアール校、ワシントン大学シアトル校、ウィスコンシン大学マディソン校、デューク大学、カリフォルニア大学サンディエゴ校

この他、同報告には、2009年米国再生再投資法（ARRA）による州毎の支出割合（全体支出のうち平均6.4%）、大学における他機関との比較を可能とするため特に医科系機関における支出割合（全体支出のうち35.5%）等を公表している。

<参考データ>

Higher Education Research and Development Fiscal Year 2011 AT

<http://www.nsf.gov/statistics/rdexpenditures/>

<出典>

<http://www.nsf.gov/statistics/infbrief/nsf13305/#fig1>